Accuphase

STEREO POWER AMPLIFIER

ステレオ・パワーアンプ

P-4600

取扱説明書



ご使用の前に、この「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、お客様カードと引きかえにお届けいたします「品質保証書」と一緒に大切に保管してください。

このたびはアキュフェーズ製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

最高峰のオーディオ・コンポーネントを目指して完成されたアキュフェーズ製品は、個々のパーツの選択から製造工程、最終の出荷にいたるまで厳重なチェックを行い、その過程と結果の個々の履歴は、製品全体の品質保証に活かされています。このような品質管理から生まれた本機は、必ずやご満足いただけるものと思います。

末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

5年間の品質保証と保証書

本機の品質保証は5年間です。付属の「お客様カード（保証書発行はがき）」に必要事項を記入の上、必ず（なるべく10日以内に）ご返送ください。「お客様カード」と引きかえに「品質保証書」をお届けいたします。

＊「お客様カード」のご返送や「品質保証書」の発行について、詳しくは17ページをご参照ください。

＊「品質保証書」はサービスサポート時に必要となります。保証書がない場合は、全て有償修理となりますので、保証登録を行っていただき、届きました保証書を大切に保管してください。

製品に関するお問い合せや異常が認められるときは、お求めの当社製品取扱店または当社品質保証部へ、直ちにご連絡ください。
尚、保証は日本国内のみ適用されます。

The Accuphase warranty is valid only in Japan.

ご注意

①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
②本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

⚠マークについて

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人身事故の発生する可能性や製品に重大な損害を生じる恐れがあることを示しています。お客様への危害や、機器の損害を防止するため、表示の意味をご理解いただき、本製品を安全に正しくご使用ください。

⚠警告

この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があり、その危険を避けるための事項が示してあります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が軽度の傷害を負う可能性や製品に損害を生じる恐れがあり、その危険を避ける為の事項が示してあります。

付属品をご確認ください

- 取扱説明書（本書） …… 1冊
- 安全上のご注意 …… 1冊
- 品質保証書について／お客様カード（保証書発行はがき） …… 1枚
- 目隠しシール …… 1枚
- AC電源コード（2m） …… 1本

著作権について

放送や録音物（CD、テープなど）から、あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外、権利者に無断で使用することはできません。音楽作品は著作権法により保護されています。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には、音量に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォーンをご使用になられたりするのも一つの方法です。

目　次

付属品をご確認ください …… 表紙裏頁

1. 安全上必ずお守りください ―― 2,3

⚠警告 …… 2
⚠注意 …… 3
快適にお使いいただくために …… 3
お手入れ …… 3

2. 各部の名前 ―― 4

フロントパネル、リアパネル …… 4

3. 一般的な接続 ―― 5

4. 各部の動作説明 ―― 6〜9

フロントパネル …… 6〜8
1 SPEAKERスイッチ …… 6
2 METERスイッチ …… 6
3 電源スイッチ …… 6
4 INPUTボタン …… 6
5 GAINスイッチ …… 7
6 パワーメーター …… 7
7 INPUTインジケーター …… 7
8 BRIDGEインジケーター …… 8
9 DUAL MONOインジケーター …… 8

リアパネル …… 8, 9
10 入力端子 …… 8
11 極性切替スイッチ …… 8
12 OPERATION スイッチ …… 8
13 スピーカー端子 ― A, B …… 9
14 AC電源コネクター …… 9

5. バイワイヤリング接続 ―― 10

6. ブリッジ接続 ―― 11

7. バイアンプ接続 ―― 12

8. 保証特性 ―― 13

9. 特性グラフ ―― 14

10. ブロック・ダイアグラム ―― 15

11. 故障かな? と思われるときは ―― 16

12. アフターサービスについて ―― 17

1. 安全上必ずお守りください

ご使用の前にこの『取扱説明書』と別冊の『安全上のご注意』を良くお読みの上、製品を安全にお使いください。

⚠ 警告

■電源は必ずAC（交流）100V、50Hz/60Hzを使用する。

- AC100V（50Hz/60Hz）以外で使用すると、感電や火災の原因となります。

■付属または当社指定の電源コード以外は絶対に使用しない。

- 感電や火災の原因となります。

■ぬれた手で電源プラグを絶対に触らない。

- 感電の原因となります。

■電源コードの上に重い物をのせたり、本機の下敷きにしない。

- 電源コードは取り扱いを誤ると、感電や火災の原因となり危険です。
- 電源コードが傷んだら、当社製品取扱店または当社品質保証部にご連絡ください。

■放熱のため本機の周辺は他の機器や壁等から十分間隔（15cm以上）を空ける。
ただし、インピーダンス4Ωのスピーカーを使用する場合には、上部により広い間隔（30cm以上）を空ける。

■機器の上に水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）、新聞紙、テーブル・クロスなどを置かない。

■トップ・プレート（天板）やボトム・プレート（底板）は絶対に外さない。

- 内部に手などで触れると感電や故障の原因となり、大変危険です。

■火災又は感電を防止するために、屋外、雨がかかる場所及び湿気の多い場所では絶対に使用しない。

■脚の交換は行わない。

- 取り付けネジが内部の部品に触れると、火災や感電、故障の原因になります。

■次の場合には本体の電源スイッチを切り、必ず電源コードをコンセントから抜く。安全を確認後、当社製品取扱店または当社品質保証部にご連絡ください。

- 製品に水や薬品などの液体がかかった場合。
- 内部に異物（燃えやすい物やヘアピン、釘、硬貨など）が入った場合。
- 故障や異常（発煙やにおいなど）と思われる場合。
- 落としたり、破損した場合。

＊上記の各項目に対して、電源スイッチをOFFにしただけでは、本機への電源供給が完全に遮断されません。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

＊万一の場合、電源コードをコンセントから容易に外せるように、コードの引き回しやコンセント周りの環境を整えてください。

■入・出力端子や、AC電源コネクター、電源プラグには接点復活剤や導電剤などは絶対に使用しない。

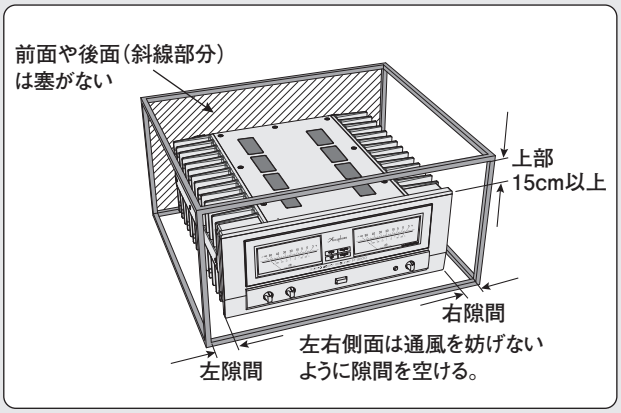
樹脂部が経年劣化で破損したり端子部がショートをおこしたりして、感電や火災あるいは故障の原因になる事があります。
（接点復活剤、導電剤使用による不具合は保証外となります。）

■密閉されたラック等には絶対に設置しない。

- 通風が悪いと機器の温度が上り、火災や故障の原因となります。

ラック等に設置する場合は、周囲の隙間を十分確保する。

放熱には自然対流による空冷方式を採用しているため、上下の通気孔をふさいだり、周囲の通風を妨げたりすると故障の原因になります。
特にラック等に設置する場合は前面や後面をふさがず、右図のように製品の左右や上面の隙間を十分確保し、周囲の通風を妨げないようにしてください。



⚠注意

■次のような場所へは設置しない。

故障の原因となります。

- 通風が悪く、湿気やほこりの多い場所
- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近くの場所
- 極端に温度の低い場所
- 振動や傾斜のある不安定な場所

■本機を2台重ねたり、他の機器に直接重ねたりして設置しない。

故障の原因となります。

■接続ケーブルを接続する時は、必ず各機器の電源を切る。

大きなショック・ノイズが発生し、スピーカーを破損するおそれがあります。

■スピーカー・ケーブルを接続する時など、スピーカー端子やスピーカー・ケーブルに触れる場合は、必ず各機器の電源を切る。

感電のおそれがあります。特に⚠マークのあるスピーカー端子には高電圧が発生しますので、ご注意ください。

■スピーカー・ケーブルをスピーカー端子に確実に接続する。

スピーカー・ケーブルの端子が本体や他のスピーカー・ケーブルの端子などに接触するとショート状態となり、発煙・発火・火災・感電・故障の原因となります(9ページ参照)。

■電源コードは、電流容量に十分な余裕のあるコンセントに接続する。

火災の原因となります。

■長期間使用しないときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜く。

故障の原因となります。

■室温35℃以下で使用する。

故障の原因となります。

■メーター照明が点滅したときは、ただちに本機の電源を切る。

下記の異常を検出すると保護回路が働き、出力を遮断してメーター照明が点滅します。

❶スピーカー・ケーブルの接続が不完全で、スピーカー端子がショートまたはショートに近い状態

❷異常な内部温度上昇

❸直流成分を多く含む信号の検出

メーター照明が点滅したときは、ただちに電源を切り、スピーカー・ケーブルの接続に問題がないか、本体内部の温度が上昇するような使い方をしてないか確認します。

確認した後もメーター照明が点滅する場合には、当社製品取扱店または当社品質保証部へご連絡ください。

メーター照明が点滅したまま使い続けると、発煙・発火・火災・感電・故障の原因になります。

快適にお使いいただくために

■本機と他の製品1台との接続の際、バランス・ケーブルとライン(アンバランス)・ケーブルを同時に接続しないでください。
アースがループになって、ノイズを発生させる原因となります。

■電源スイッチをOFFした直後(10秒以内)に、再びONしないでください。
ノイズ発生などの原因となります。

■電源スイッチは、ボリュームを下げてから切ることをおすすめします。
次回の演奏時に、急に大きな音が出るのを防ぐことができます。

■OPERATIONスイッチを切り替えるときは、必ず各機器の電源スイッチをお切りください。
ショック・ノイズの原因となることがあります。

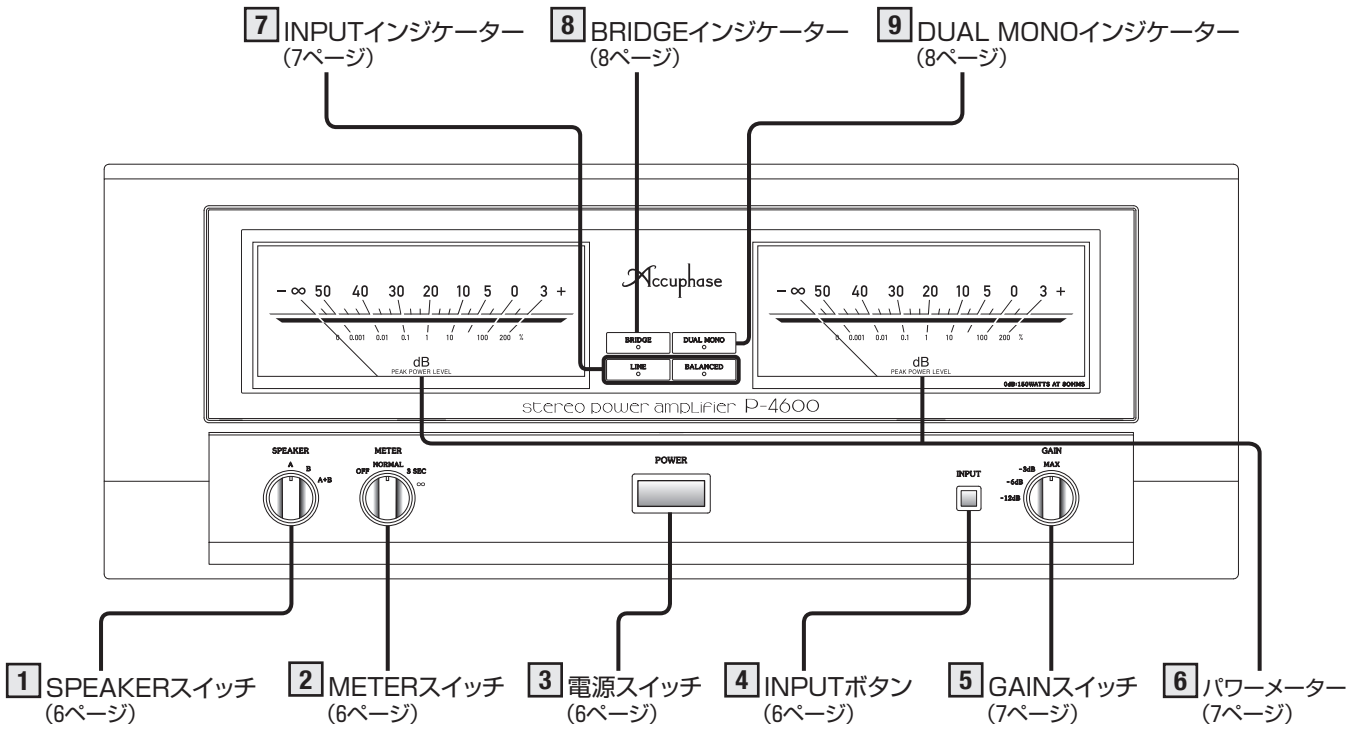
お手入れ

- お手入れの場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本体のお手入れは、柔らかい布を使用してください。固く絞った布で水拭きし、その後乾いた布で拭いてください。ベンジン、シンナー系の液体は、表面を傷めますので使わないでください。

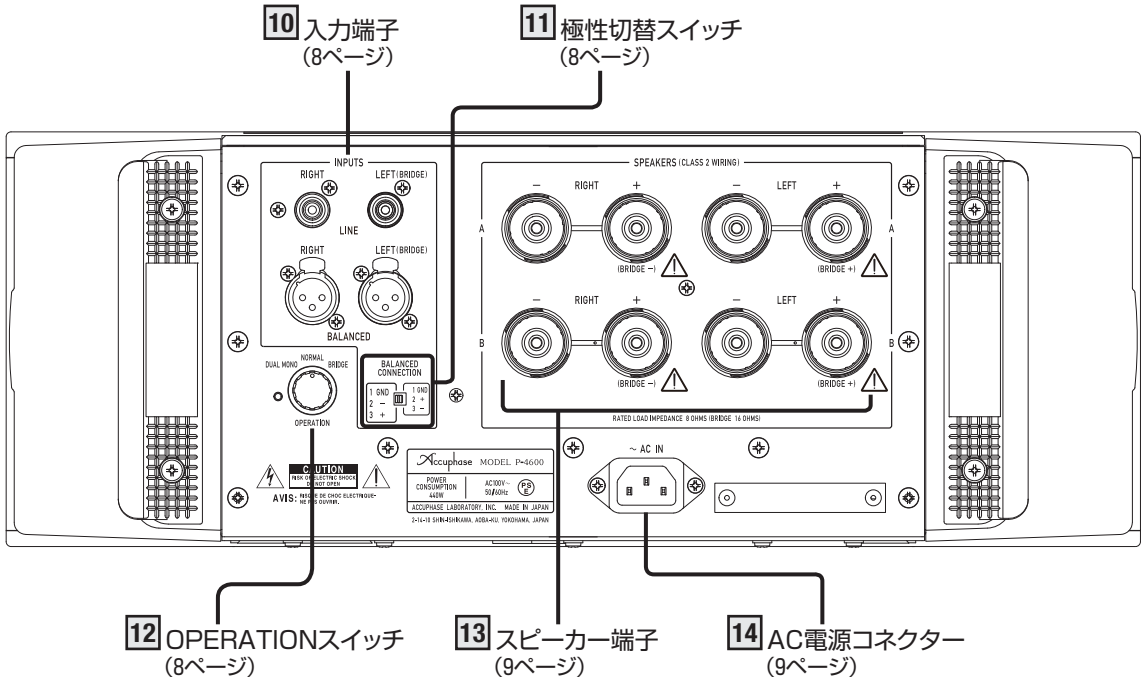
2. 各部の名前

詳しい説明は、各項目(　)内のページを参照してください。

フロントパネル



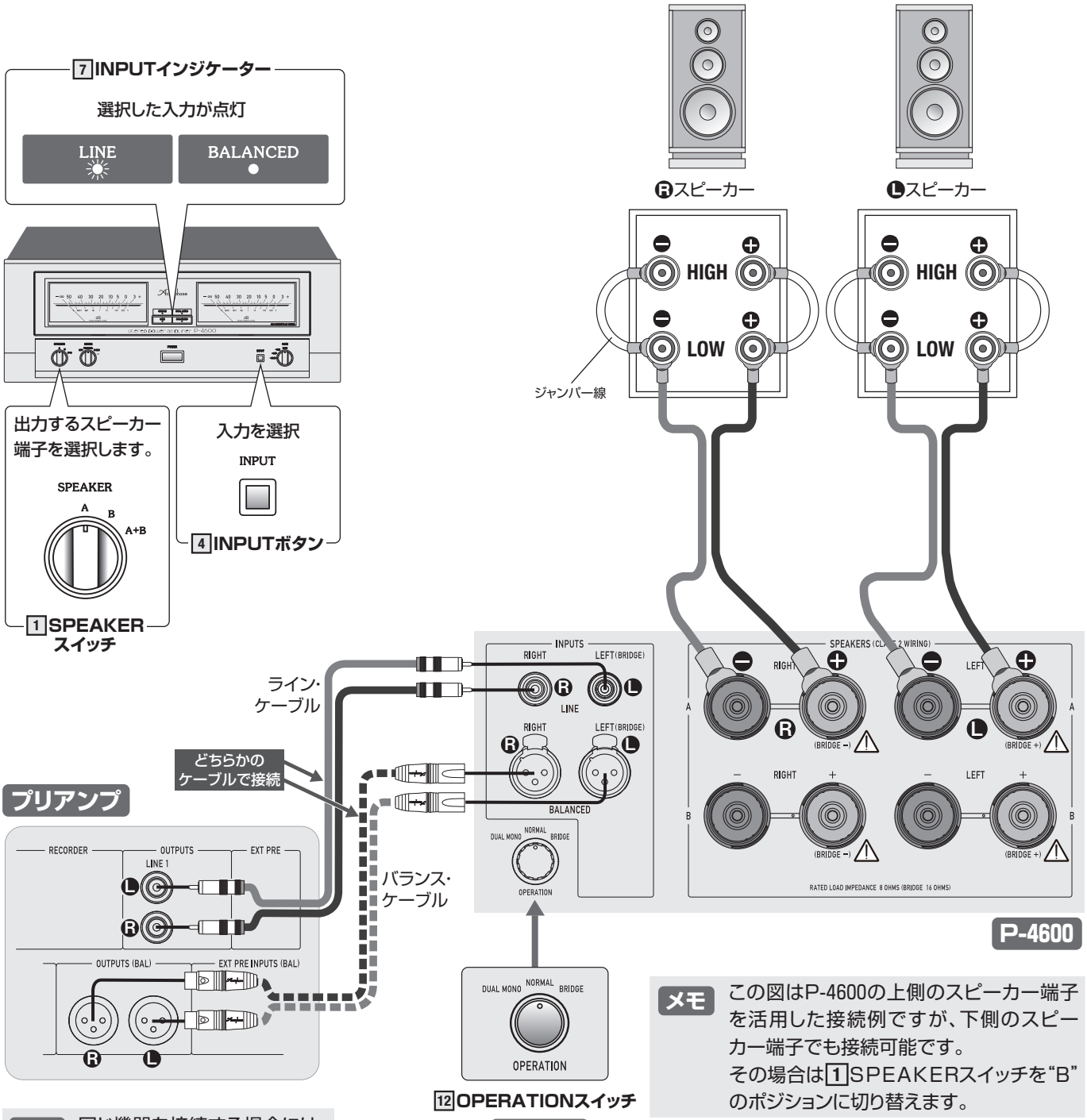
リアパネル



3. 一般的な接続

⚠注意：OPERATIONスイッチの切り替えや接続を変えるときは、必ず各機器の電源スイッチを切る。感電の原因となります。

1ペアのスピーカー・ケーブルを使ったシンプルな接続方法です。



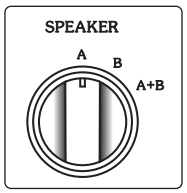
メモ この図はP-4600の上側のスピーカー端子を活用した接続例ですが、下側のスピーカー端子でも接続可能です。
その場合は1 SPEAKERスイッチを“B”のポジションに切り替えます。

注意 同じ機器を接続する場合には、バランス・ケーブルとライン・ケーブルを同時に接続しないでください。アースがループになって、ノイズを発生させる原因になります。

4. 各部の動作説明

フロントパネル

1 SPEAKERスイッチ



2系統のスピーカーを切り替えるためのスイッチです。

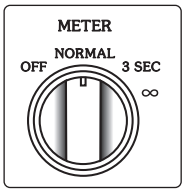
A スピーカー端子Aに接続したスピーカーを演奏するためのポジションです(工場出荷状態)。

B スピーカー端子Bに接続したスピーカーを演奏するためのポジションです。

A+B (1) 2系統のスピーカーを同時に演奏するためのポジションです。
この場合、インピーダンス8Ω以上のスピーカーを接続してください。
(2) バイワイヤリング接続のためのポジションです。
この場合、インピーダンス4Ω以上のスピーカーを接続してください(10ページ参照)。

◆注意
SPEAKERスイッチを切り替えるときは、必ずボリュームを下げる。

2 METERスイッチ



メーターの動作を切り替えるためのスイッチです。

OFF
メーターの動作が停止し、メーター照明が消灯します。

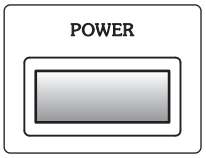
NORMAL (工場出荷状態)
メーターが通常動作となり、メーター照明も点灯します。

3 SEC (ホールドタイム)
3秒間、ピーク値を表示します。表示しているピーク値より大きな値が入ったとき、ピーク値をリアルタイムで更新します。

∞ (ホールドタイム)
- 電源を入れてから切るまでの間、ピーク値をリアルタイムで更新して表示します。
- 途中で"∞"ポジションに切り替えたときは、その時点からのピーク値表示になります。
- 電源を切るか他のポジションに切り替えると、表示がクリアされます。

3 電源スイッチ

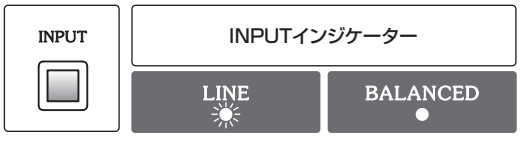
電源を入れたり、切ったりするためのスイッチです。電源を入れてから回路が安定するまでの約5秒間は、スピーカー端子から信号を出力しません。



◆注意
電源スイッチをOFFした直後(10秒以内)に再びONしない。
誤作動やノイズ発生などの原因となることがあります。

4 INPUTボタン

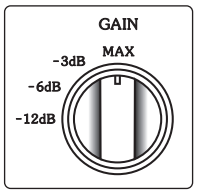
10 入力端子を切り替えるためのボタンです。選択した 7 INPUTインジケーターが点灯します。



「LINE」点灯　　：ライン入力(工場出荷状態)
「BALANCED」点灯：バランス入力

5 GAINスイッチ

増幅部のゲインを切り替えるためのスイッチです。



ポジション	ゲイン
MAX（通常）	28dB
−3dB	25dB
−6dB	22dB
−12dB	16dB

MAX（工場出荷状態）

通常のポジションです。
ゲインは28dBです。

−3dB、−6dB、−12dB

ゲインを下げるとノイズ成分も下がりますので、マルチアンプ・システムなどで、以下の場合に大変有効です。

- 中高域用スピーカーの残留ノイズが気になる場合。
- 接続したスピーカー・ユニットの能率が他のユニットより高く、音量が合わせ難い場合。

6 パワーメーター

このパワーメーターは出力レベルをdB（デシベル）と%で表示します。
出力はスピーカーのインピーダンスにより変化し、4Ωでは8Ωの2倍、16Ωでは8Ωの1/2倍の値になります。
負荷別に表示値と出力の関係を以下に示します。

ノーマル / バイアンプ接続時

表示	8Ω負荷	4Ω負荷	2Ω負荷
0dB： 100%	150W	300W	——
−10dB： 10%	15W	30W	60W
−20dB： 1%	1.5W	3W	6W
−30dB： 0.1%	0.15W	0.3W	0.6W
−40dB： 0.01%	0.015W	0.03W	0.06W
−50dB：0.001%	0.0015W	0.003W	0.006W

ブリッジ接続時（11ページ参照）

表示	8Ω負荷	4Ω負荷
0dB： 100%	600W	——
−10dB： 10%	60W	120W
−20dB： 1%	6W	12W
−30dB： 0.1%	0.6W	1.2W
−40dB： 0.01%	0.06W	0.12W
−50dB：0.001%	0.006W	0.012W

ブリッジ接続時には、出力電力が通常の4倍になります。

このパワーメーターは2 METERスイッチで消灯可能です。

メモ

このパワーメーターは、瞬間的なピーク値でも表示可能なピークレベル指示型です。
きわめて短い時間のピークでも値を読み取りやすくするため、メーター指針の立ち上がり時間に比べて、立ち下がり時間が遅くなっています。
なお、音楽にノイズやパルス性の信号が含まれている場合には、表示値が聴感上の音量感とは違った印象になることがあります。

⚠注意：メーター照明の点滅について

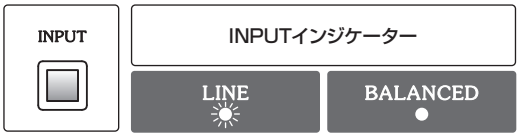
下記の異常を検出すると保護回路が働き、出力を遮断してメーター照明が点滅します。

❶スピーカー・ケーブルの接続が不完全で、スピーカー端子がショートまたはショートに近い状態
❷異常な内部温度上昇
❸直流成分を多く含む信号の検出

メーター照明が点滅したときは、ただちに電源を切り、スピーカー・ケーブルの接続に問題がないか、本体内部の温度が上昇するような使い方をしてないか確認します。
確認した後もメーター照明が点滅する場合には、当社製品取扱店または当社品質保証部へご連絡ください。
メーター照明が点滅したまま使い続けると、発煙・発火・火災・感電・故障の原因になります。
2 METERスイッチをOFFにしてメーター照明を消灯していても、異常時にはメーター照明が点滅します。

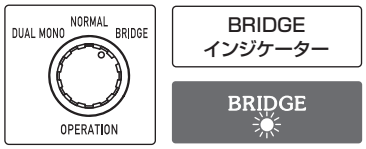
7 INPUTインジケーター

4 INPUTボタンで選択した入力端子のインジケーターが点灯します。
（6ページ参照）



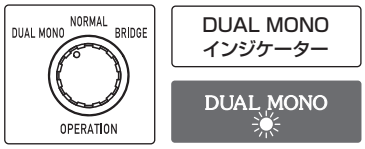
8 BRIDGEインジケーター

リアパネル側の12 OPERATIONスイッチをBRIDGEに切り替えると、このインジケーターが点灯します。



9 DUAL MONOインジケーター

リアパネル側の12 OPERATIONスイッチをDUAL MONOに切り替えると、このインジケーターが点灯します。



リアパネル

10 入力端子

プリアンプの出力を接続します。4 INPUTボタンで入力端子(LINEまたはBALANCED)を選択してください。

LINE

ライン・ケーブルを接続するための入力端子です。

BALANCED

バランス・ケーブルを接続するための入力端子です。

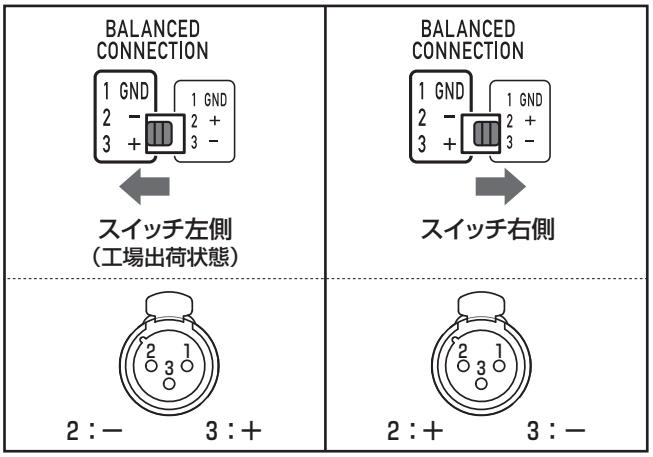
バランス入力端子の極性



❶:グラウンド
❷:インバート(−)
❸:ノン・インバート(+)

メモ

接続機器と極性が合わないときは11 極性切替スイッチで合わせることができます。
極性は合わせなくても演奏可能です。
バランス・ケーブルは当社でもご用意しています。

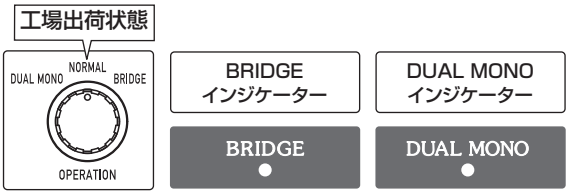


11 極性切替スイッチ

10 バランス入力端子の極性を切り替えるためのスイッチです。
当社製品(一部のプロ機器を除く)と接続する場合は、スイッチを左側(工場出荷状態)のままでご使用ください。
接続する機器の極性が本機と異なる場合は、スイッチを右側にしてください。
ただし、極性は必ずしも合わせる必要はありません。合わせなくても演奏は可能です。

12 OPERATIONスイッチ

スピーカーとの接続方法をブリッジ接続やバイアンプ接続に切り替えるためのスイッチです。



詳しい説明は5, 10〜12ページをご参照ください。

OPERATION スイッチ	NORMAL (通常)	BRIDGE	DUAL MONO
接続方法	一般的な接続及びバイワイヤリング接続	ブリッジ接続	バイアンプ接続
ブリッジ・インジケーター	消灯	**点灯**	消灯
デュアル・モノ・インジケーター	消灯	消灯	**点灯**
参照ページ	5, 10	11	12

◆注意

OPERATIONスイッチを切り替えるときは、必ず各機器の電源スイッチを切る。

13 スピーカー端子 — A, B

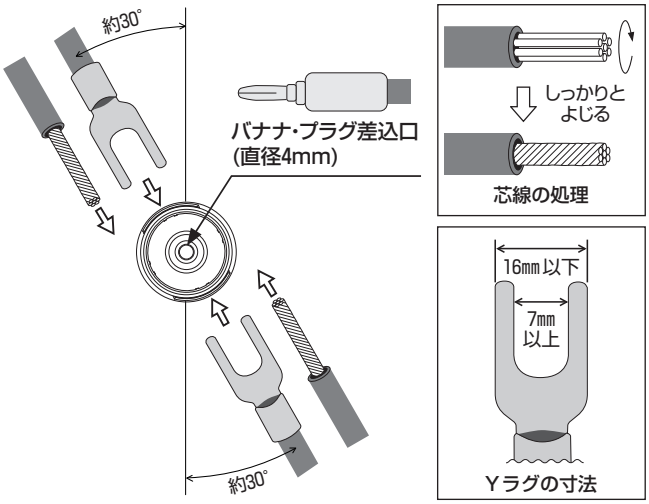
A、B端子に2組のスピーカーを接続することができます。

接続スピーカー	スピーカーのインピーダンス
1組	4〜16Ω
2組	8〜16Ω

●バイワイヤリング接続の場合は、A/B端子それぞれから、スピーカーのHIGH(高域)/LOW(低域)用端子と接続します(10ページ参照)。

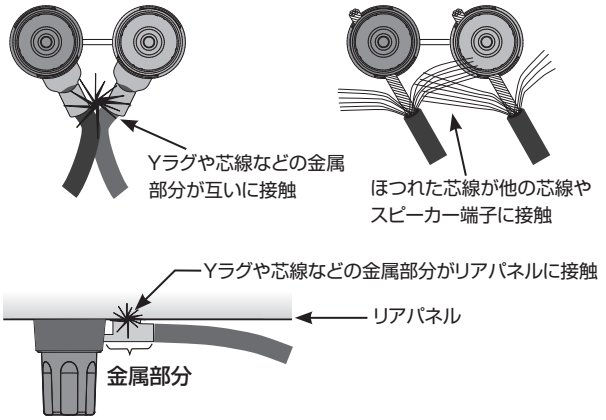
メモ

スピーカー・ケーブルの芯線を直接接続する場合は、先端の被覆をはがし、芯線をほつれないようにしっかりとよじります。ただし、この場合芯線がほつれるとショート事故が発生する可能性がありますので、Yラグ端子のご使用をおすすめいたします。Yラグ端子は確実に締めつけることが可能です。



⚠注意

- スピーカー端子にケーブルを接続または取り外すときは、必ず電源を切る。感電のおそれがあります。
- Yラグやほつれた芯線などの金属部分が互いに接触したり、本体や他のスピーカー端子に接触したりすると、発煙・発火・火災・感電・故障の原因となり大変危険です。十分にご注意ください。



14 AC電源コネクター

付属の電源コードを接続します。

⚠警告

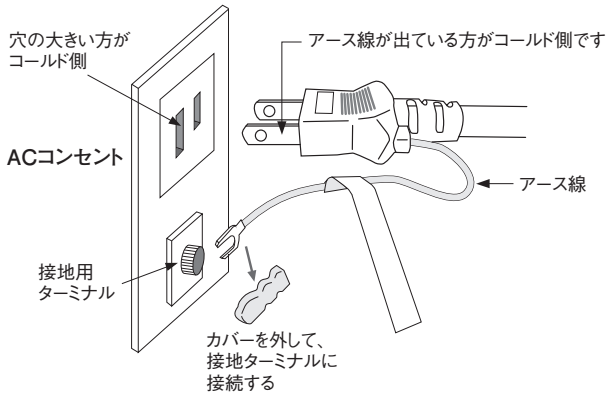
電源は必ずAC100V家庭用コンセントを使用する。

■電源コードに付いているアース線の接続

付属の電源コードには、プラグ側に接地用アース線が付いています。感電防止のため、このアース線を接地用ターミナルに接続すると、より一層安全になります。
接地ターミナルの工事は、電気工事店にご相談ください。

■入・出力端子や、AC電源コネクター、電源プラグには接点復活剤や導電剤などは絶対に使用しない。

樹脂部が経年劣化で破損したり端子部がショートをおこし、感電や火災あるいは故障の原因になる事があります。(接点復活剤、導電剤使用による不具合は保証外となります。)



⚠警告

アース線の接地用ターミナルへの接続は、必ずプラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース線を外すときは必ずプラグをコンセントから抜いてから行ってください。

■電源コードの極性表示

本機は、トランスの巻き方向、部品の配線など極性を管理して、電源プラグのアース線が出ている方がコールド側になっています。機器の接続を統一したい場合は参考にしてください。

◆注意

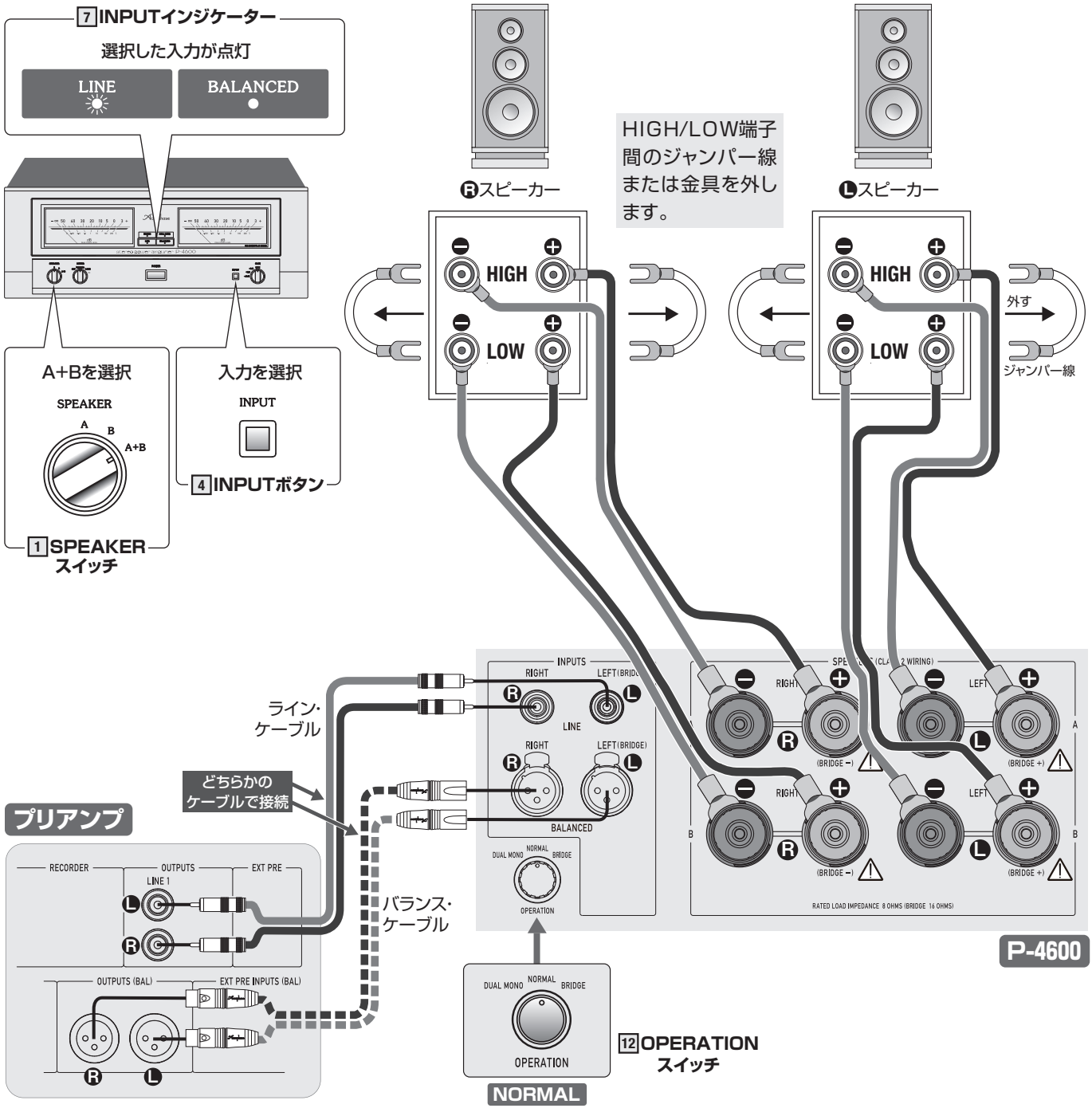
- 室内コンセントの極性は、一般的に向かって左側(穴が右に比べて大きい)がコールド側です。
- 大地に対する電位は屋内配線の状況によって変化します。そのためチェッカーなどを使用して測定した場合、電位が逆に表示されることがあります。

5. バイワイヤリング接続

⚠注意：OPERATIONスイッチの切り替えや接続を変えるときは、必ず各機器の電源スイッチを切る。
感電の原因となります。

バイワイヤリング接続は、スピーカーのHIGH端子とLOW端子に別々のスピーカー・ケーブルを接続するため、HIGH/LOW間の相互干渉の低減が可能です。

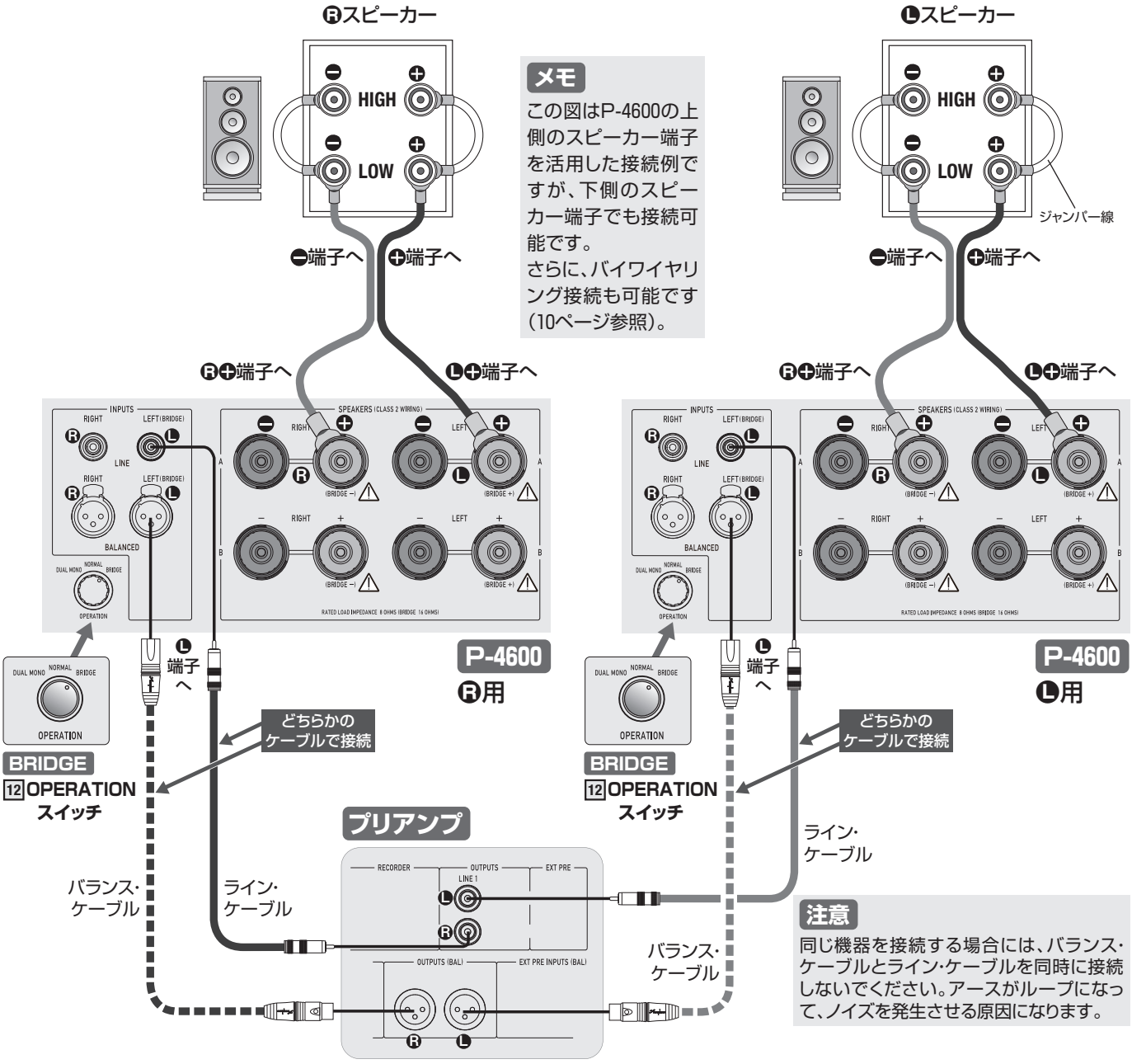
- ネットワークを内蔵し、HIGHとLOWの端子を備えたスピーカーが必要です。
  一般的なスピーカーは、ネットワークを内蔵しています。

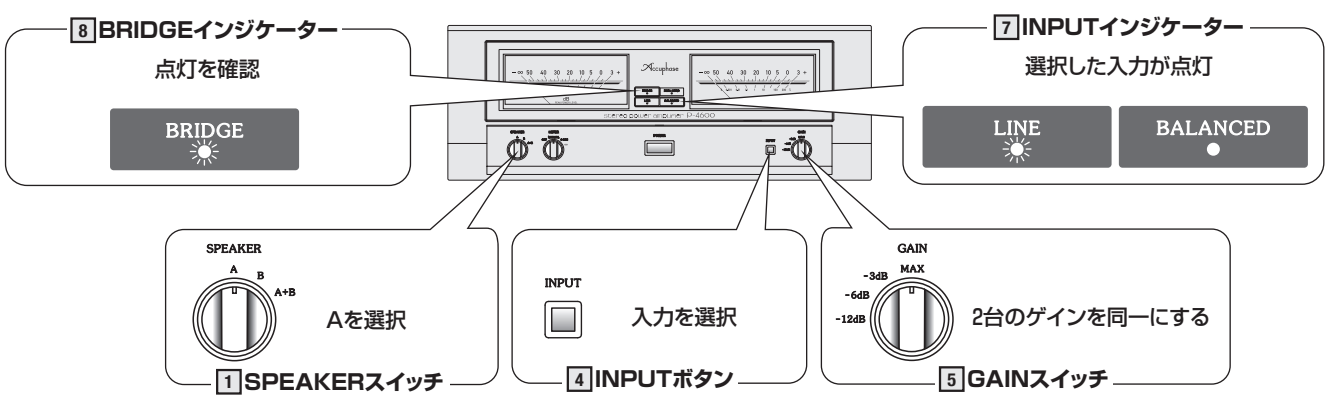


注意 同じ機器を接続する場合には、バランス・ケーブルとライン・ケーブルを同時に接続しないでください。アースがループになって、ノイズを発生させる原因になります。

6. ブリッジ接続

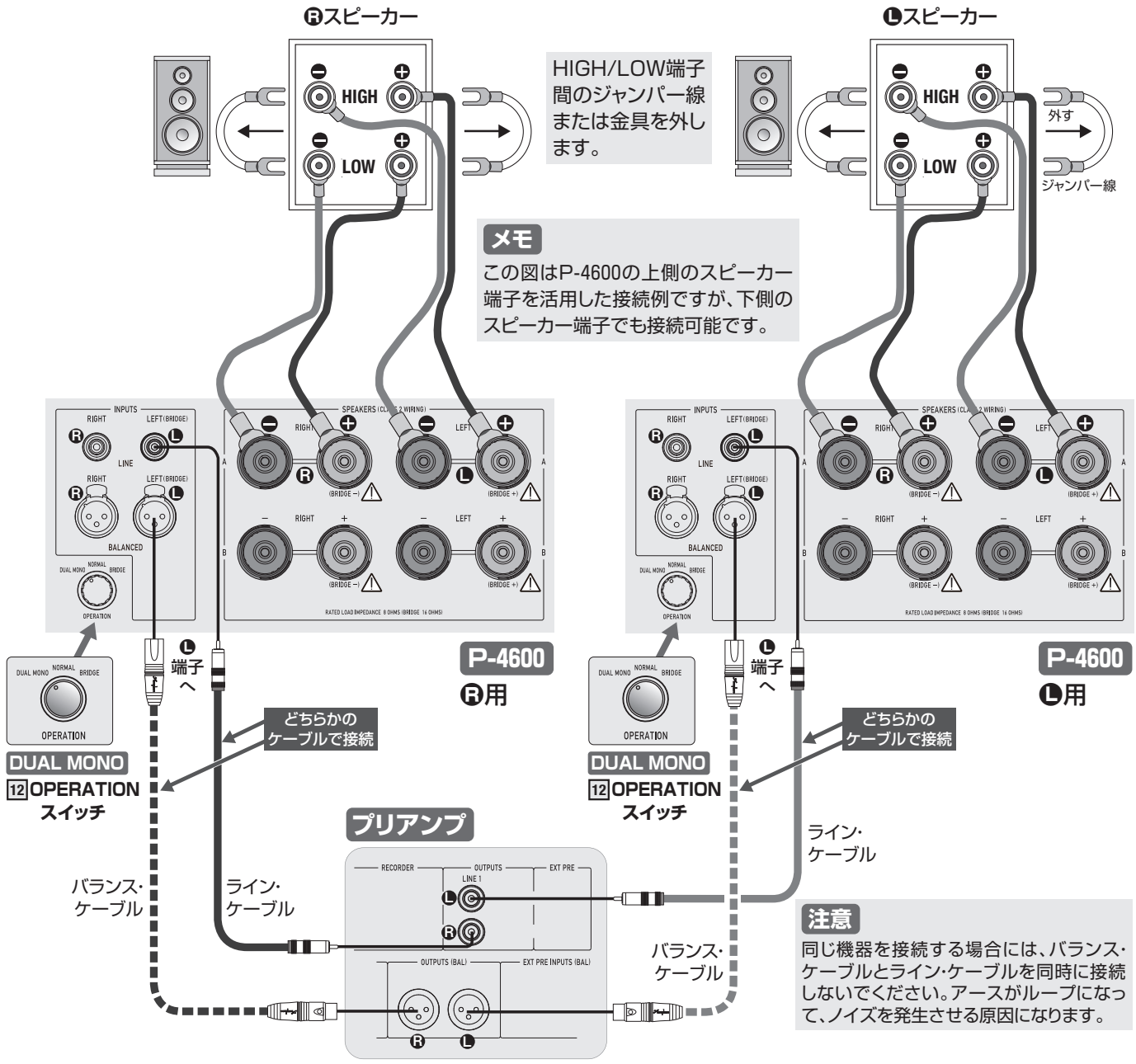
⚠注意：OPERATIONスイッチの切り替えや接続を変えるときは、必ず各機器の電源スイッチを切る。感電の原因となります。

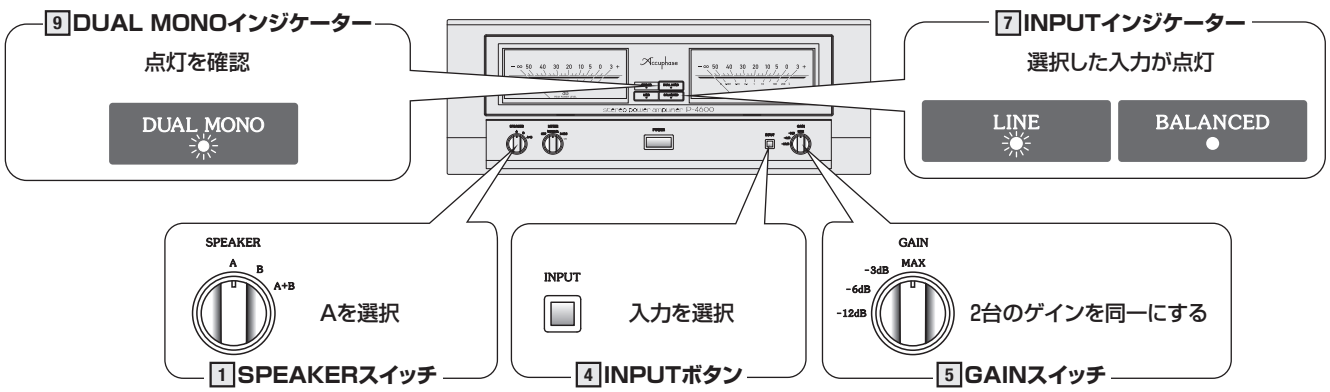




7. バイアンプ接続

⚠注意：OPERATIONスイッチの切り替えや接続を変えるときは、必ず各機器の電源スイッチを切る。感電の原因となります。





8. 保証特性

●保証特性の測定方法は、「JEITA CP-1301A」及び「IEC 60268-3」に準ずる。
●特に条件のある場合を除き、保証特性は、ノーマル接続、定格負荷8Ωにおける定格出力時の値を示す。
●「ノーマル接続」とは標準的な動作を示す。

定格出力（20～20kHz、0.05%）

ノーマル / バイアンプ接続
- 2Ω負荷*1　450W/ch
- 4Ω負荷　300W/ch
- 8Ω負荷　150W/ch

ブリッジ接続
- 4Ω負荷*1　900W
- 8Ω負荷　600W

*1：音楽信号に限る

全高調波ひずみ率（20～20kHz）

ノーマル / バイアンプ接続
- 2Ω負荷　0.05%
- 4～16Ω負荷　0.03%

ブリッジ接続
- 4～16Ω負荷　0.05%

IMひずみ率

0.01%

周波数特性

定格出力時　20～20kHz　（+0, −0.2dB）
1W出力時　0.5～160kHz　（+0, −3.0dB）

ゲイン

ノーマル / バイアンプ接続

GAINスイッチ	MAX	−3dB	−6dB	−12dB
ゲイン（dB）	28	25	22	16

負荷インピーダンス

ノーマル / バイアンプ接続　4～16Ω
（ただし音楽信号に限り、2～16Ωが可能）

ブリッジ接続　8～16Ω
（ただし音楽信号に限り、4～16Ωが可能）

ダンピング・ファクター

ノーマル / バイアンプ接続　800以上

入力感度

ノーマル / バイアンプ接続　定格出力時　1.38V
1W出力時　0.11V
ブリッジ接続　定格出力時　2.76V
1W出力時　0.11V

入力インピーダンス

バランス入力　40kΩ
ライン入力　20kΩ

S/N（A補正、入力ショート）

GAINスイッチ　MAX時　125dB
GAINスイッチ　−12dB時　130dB

パワーメーター

形式　対数圧縮型アナログ・メーター、表示消灯機能付
表示範囲　−∞～+3dB
ホールド・タイム　0秒 / 3秒 / ∞　切替式

電源

AC100V　50/60Hz

消費電力

無入力時　94W
電気用品安全法*2　440W
8Ω負荷定格出力時　565W
待機時　0.3W

*2：電気用品安全法の消費電力は、その機種の最大負荷（本機は4Ω）で「クリッピング直前出力の1/8」を供給したときの電力値です。

最大外形寸法

幅465mm × 高さ190mm × 奥行427mm

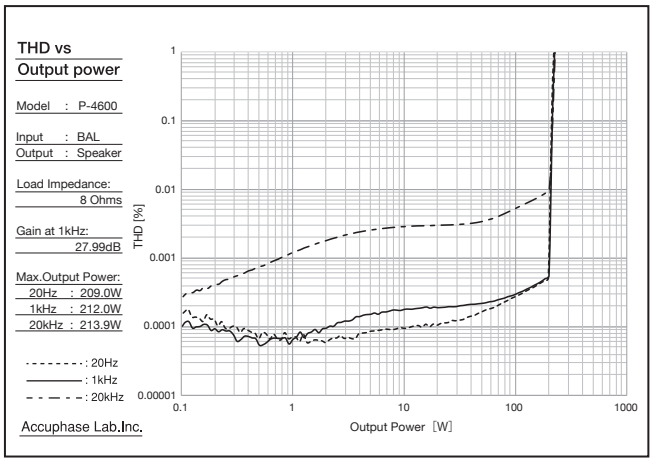
質量

30.0kg

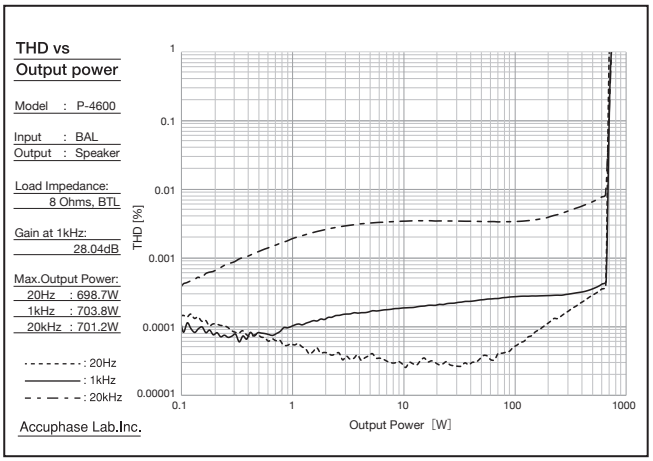
●本機は「JIS C 61000-3-2　適合品」です。
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本産業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相あたりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

*本機の仕様・特性および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

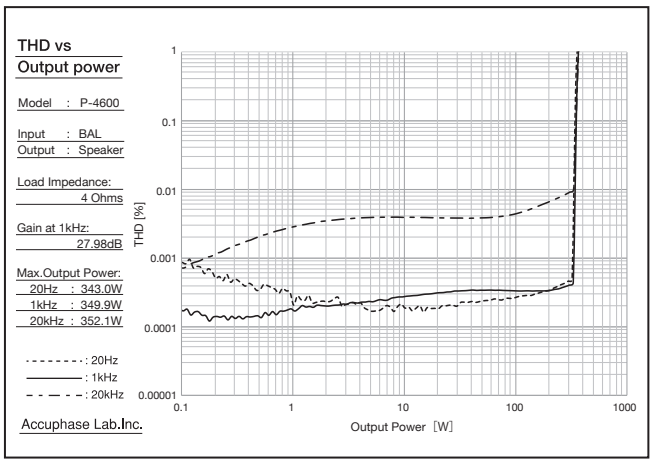
9. 特性グラフ



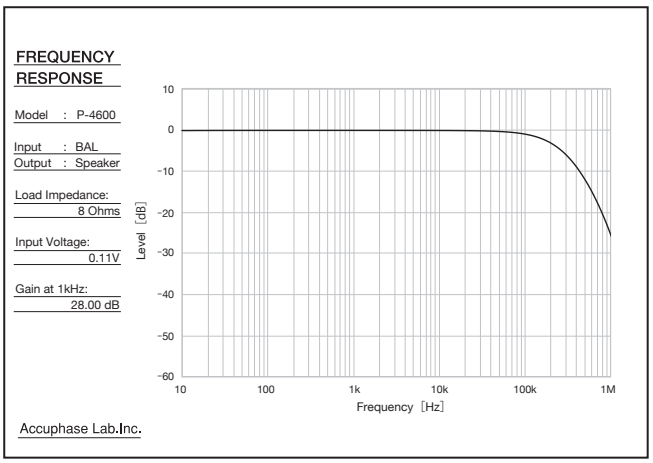
出力電力 / 全高調波ひずみ率特性（8Ω負荷、ステレオ仕様時）



出力電力 / 全高調波ひずみ率特性（8Ω負荷、ブリッジ接続時）

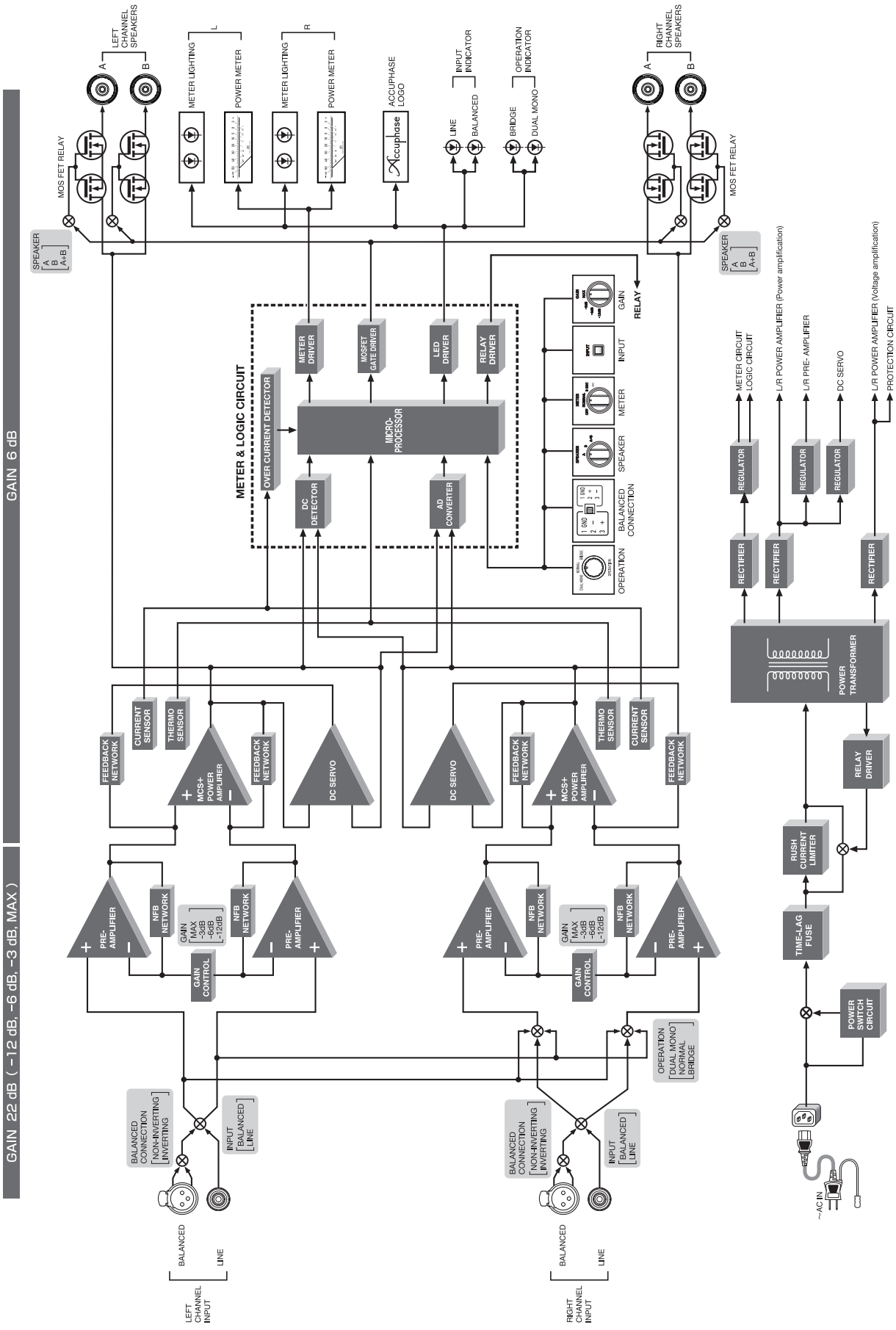


出力電力 / 全高調波ひずみ率特性（4Ω負荷、ステレオ仕様時）



周波数特性（8Ω負荷、1W 出力時）

10. ブロック・ダイアグラム



11. 故障かな? と思われるときは

故障かな? と思われるときは、修理を依頼される前に、下記の項目をチェックしてください。
これらの処置をしても直らない場合には、当社製品取扱店または当社品質保証部にご連絡ください。

⚠ 注意：接続を変えるときは、必ず各機器の電源スイッチを切る。

現　象	原　因　等	対　処　方　法
メーター照明が点滅する。	下記の異常を検出すると保護回路が働き、出力を遮断してメーター照明が点滅します。 ❶スピーカー·ケーブルの接続が不完全で、スピーカー端子がショートまたはショートに近い状態 ❷異常な内部温度上昇 ❸直流成分を多く含む信号の検出 メーター照明が点滅したまま使い続けると、発煙·発火·火災·感電·故障の原因になります。 表示が消灯状態でも、異常時にはメーター照明が点滅します。	ただちに電源スイッチを切り、スピーカー·ケーブルの接続に問題がないか、本体内部の温度が上昇するような使い方をしてないか確認します。 確認した後もメーター照明が点滅する場合には、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから外して、当社製品取扱店または当社品質保証部へご連絡ください。
電源が入らない。	電源コードの本体側コネクターやコンセント側プラグが抜けている。	本体側とコンセント側の挿入箇所を確認します。
	電源コードが傷んでいる。	危険ですので傷んでいる電源コードは使用せず、当社製品取扱店または当社品質保証部へご連絡ください。
音が出ない、または音が小さい。	入力側の機器から信号が出力されていない。	入力側の機器が信号を出力する状態であるかご確認ください。
	選択している入力端子が異なる。	7 INPUTインジケーターで入力端子をご確認ください。
	スピーカー·ケーブルの接続不良等により、スピーカー端子がショートまたはショートに近い状態。	ショートまたはショートに近い状態ではないかご確認ください。
	接続が正しくされていない。	全ての機器が正しく接続されているかご確認ください。
	入力側の機器や本機のスイッチの設定が異なる。	入力側の機器や本機のスイッチをご確認ください。
片方のスピーカーから音が出ない。	上記の"音が出ない、または音が小さい。"の現象の原因ではない場合。	下記"片方のスピーカーから音が出ない場合に原因を探す方法"をお試しください。
定位感がはっきりしない。	片方のチャンネルだけ位相が逆になっている。	スピーカー·ケーブルの極性 (+ / −) が正しいかご確認ください。
	ステレオ動作時に12 OPERATIONスイッチがNORMALになっていない。	12 OPERATIONスイッチをご確認ください。
メーター照明が消えている。	2 METERスイッチがOFFになっている。	2 METERスイッチをご確認ください。
パワーメーターのメータースケール照明がやや明るい。	この照明は信頼性の高いLEDを採用しています。初期の照度はやや明るめですが、やがて本来の安定した明るさになります。	この現象は故障ではありません。

片方のスピーカーから音が出ない場合に原因を探す方法

注意：接続を切り替える時は、必ず各機器の電源を切る

手順	方　法	結　果	原　因
1	左右のスピーカー·ケーブルの接続を以下のように入れ替えます。 ●P-4600の左チャンネル → スピーカーの右チャンネル ●P-4600の右チャンネル → スピーカーの左チャンネル	同じスピーカーから音がでない。	スピーカー·ケーブルの接続やスピーカーに問題があると考えられます。
		違うスピーカーから音がでない。	P-4600またはプリアンプまたはプレーヤーまたはその間の接続ケーブルに問題があると考えられます。さらに手順2を行います。
2	本機の入力ケーブルの接続を以下のように入れ替えます。 ●プリアンプの左チャンネル → P-4600の右チャンネル ●プリアンプの右チャンネル → P-4600の左チャンネル	同じスピーカーから音がでない。	P-4600に問題があると考えられます。
		違うスピーカーから音がでない。	プリアンプまたはプレーヤーまたはその間の接続ケーブルに問題があると考えられます。さらに手順3を行います。
3	プレーヤーとプリアンプの接続を以下のように入れ替えます。 ●プレーヤーの左チャンネル → プリアンプの右チャンネル ●プレーヤーの右チャンネル → プリアンプの左チャンネル	同じスピーカーから音がでない。	プリアンプに問題があると考えられます。
		違うスピーカーから音がでない。	プレーヤーまたはプレーヤーとプリアンプの間の接続ケーブルに問題があると考えられます。

12. アフターサービスについて

保証書について

●保証書は本体付属の『お客様カード(保証書発行はがき)』の登録でお送りいたしますので、「お客様カード」を **当社品質保証部に必ずご返送ください。**

●『お客様カード』の『お客様情報欄』には付属の『目隠しシール』を貼ってご返送ください。

●保証書の記載内容により、**本機の保証期間はご購入日から5年間です。**

●**『品質保証書』の無い場合は、全て有償修理となります**ので、『お客様カード』は必ずご返送ください。

●『お客様カード』をご返送いただく時、ご購入日等を記入して頂きますが、下記の場合には『品質保証書』の発行ができないことがあります。

＊ご記入頂いた購入日と弊社からの製品出荷日とが大きく異なる場合。
＊『お客様カード』が返送されないまま、転売(インターネット等)された場合。
＊長期間『お客様カード』の返送がない場合。

●オプション類には『お客様カード』を付属していませんが、製品出荷日をご購入日として弊社が登録し、『5年間保証』とさせていただきます。

保証期間が過ぎてしまったら

●修理によって性能を維持できる場合には、ご希望により有料で修理いたします。

●補修部品の保有期間は経済産業省指導により、製造終了後8年間となっています。
使用期間が相当経過している場合には、当社品質保証部にお問い合わせください。

⚠注意 保証期間以降、長期に渡って安全にご使用いただくために、当社での定期的な点検を行ってください。内容については当社品質保証部にご相談ください。

その他

●本機は絶対に分解や改造をしないでください。修理ができない場合があります。

●本機の故障に起因する付随的損害(営利的使用に関する諸費用、使用により得られる利益の損失等)については補償できません。

●AC100V以外(海外)では使用できません。

● 保証は日本国内のみ適用されます。
The Accuphase warranty is valid only in Japan.

お問い合わせは

●ご質問、ご相談、当社製品取扱店のご案内などは、下記の当社品質保証部へお願いします。

アキュフェーズ株式会社　品質保証部
〒225-8508　横浜市青葉区新石川2-14-10
TEL　045(901)2771(代表)
FAX　045(901)8995

●修理のご相談は、お買い求めの当社製品取扱店へお願いします。

●当社のホームページ上でも修理のお問い合わせが可能です。
https://www.accuphase.co.jp/

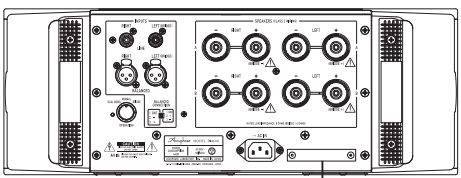
修理を依頼する場合には

●"故障かな?と思われるときは"をご確認後、直らない場合には、電源プラグをコンセントから抜き、当社製品取扱店に修理を依頼してください。

次の内容をお知らせください(保証書参照)。
●モデル名、シリアル番号　●ご住所、氏名、電話番号
●ご購入日、ご購入店　●故障状況：できるだけ詳しく

＊梱包材は、輸送時に必要となりますので、可能であれば保管しておいてください。

リアパネル



シリアル番号

enrich life through technology

ACCUPHASE LABORATORY, INC.
アキュフェーズ株式会社
〒225-8508 横浜市青葉区新石川2-14-10
TEL.045-901-2771（代） FAX.045-901-8959
https://www.accuphase.co.jp/

820-0353-00 (B6)
B254Y

PRINTED IN JAPAN